

大伴小だより



富田林市立大伴小学校 令和4年7月20日(水) 8月号

「大伴スマイルフラワー」始動!

校長 堤 周作

7月2日猛暑の中、土曜参観にたくさんのご家族の皆様に来校頂き、ありがとうございました。

子どもたちはご家族が来られるととても嬉しそうで、いつもより張り切っている様子でした。また、暑さ指数(WBGT)が運動中止の域に達していなかったため、日陰での休憩と水分補給を十分に確保して行った体育[5年バトンパスの工夫、2年マツト運動]でも、大きな拍手やマスク内の歓声で子どもたちを応援して頂きました。他の教科の時間での児童の活躍とご家族の温かい見守りを見て、素朴な大伴小の不易な良さ・温かさを改めて実感できました。

さて、保護者の皆様は「大伴スマイルフラワー」のプランターをどこかで見かけたでしょうか?

コロナ休校で始まった一昨年、私が大伴小に赴任した時に学校に花が少ないと感じました。

正門前には少しあったのですが、他の2つの門には雑草がボーボーに生えているか、花壇の土がカチンカチンに固まっていて、花など到底植えられない状態でした。休校が明けて子どもたちが学校に戻って来た頃、「3つの門に花を一杯植えて、登下校時の子どもの心を少しでも癒せたら」と

考え、校務員の松井先生とともに、固まっている地面を鍬で耕し、雑草を抜き、肥料の入った土を大量に入れました。そして当時の園芸栽培委員(現中2)と有志の12年(現34年)とともに、PTAの支援で購入した花の苗を植え、委員が朝早くから水をあげて育ててくれました。

去年には、市社会福祉協議会の事業の資金援助で花苗を大量購入し、園芸栽培委員(現中1)

と先生(鈴木、棒田先生)、6年の先生(堀内、長谷先生)の協力を得て、校区の福祉施設である柳生苑、拓作業所、かがりの郷に、メッセージを添えて花苗を植えたプランターを贈呈しました。

すると施設を利用する方々が「元気を貰えた」と、とても喜ばれて心のこもったお礼のお手紙を頂くなど、コロナ禍でもできる交流となりました。また、余った花苗で、花壇をブルー校舎(2年教室)前や正門北にも広げ、3つの門付近にたくさんプランターも設置しました。

そして今冬、大伴小学校区交流会議(地域活性化を目的として地区や施設の代表者が集まる会議)で、「この取組みを校区に広げてほしい。運搬や水やりは自分たちが責任をもってやるから。」と要

請があり、交流会議からの資金援助により、下記の施設等に贈呈することとなりました。

そこで、学校代表として6年全員と勝部、林先生に協力して貰い、また、実行委員会を6年に立ち上げて取り組んできました。その様子を紹介します。



趣旨説明

寄せ植え

メッセージ作成

ここから実行委員

お手紙作成
大伴郵便局様へ

車まで運搬

ここから贈呈式

南大伴福祉委員様

勝山商店様

勝山歯科様

【寄せ植え設置協力施設(敬称略)】大伴小校区16か所
南大伴町会館(南大伴福祉委員会)、寿美ヶ丘公園(南寿美ヶ丘福祉委員会)、柳生苑(養護老人ホーム)
拓作業所(生活介護)、かがりの郷、東公民館、今城クリニック 和が家(看護小規模多機能型居宅介護)、大伴郵便局
勝山歯科、サンプラザ 山中田店、JA大阪南 大伴支店、勝山商店、大伴保育所、大伴幼稚園、大伴小学校

今年も余った花苗で3つの門の花壇を充実させて、園芸栽培委員と先生(松井、梅本、棒田先生)が、暑期中、毎朝水をあげてくれています。この交流により、子どもたちに福祉への理解、郷土を愛する心、地域に貢献する態度が育まれ、頼りがいのある人に成長することを願います。[この様子は2学期に、市社会福祉協議会の「つながりTonTonTube」にアップされる予定]

さて、保護者の皆様、明日より約40日間、お子様をご家庭にお返しします。お子様が瑞々しい感性を持つ今、間に、「長期休みにしかできないこと」「ご家族との温かい触れ合い」を、是非、経験させてください。お子様には一生の思い出として心に残ることでしょう。最後になりましたが、1学期の感染状況を注視しながらの教育活動再開への、ご理解ご協力に厚く感謝申し上げます。